



令和7年 9月30日(火)
石垣市立白保小学校
TEL: 86 - 7840
FAX: 86 - 7396

来週 10/6 から教育実習がスタートします！

実習は10月24日までの約3週間、6年生を中心に全学年の子どもたちと関わりながら、教師の仕事について学んでいきます。実習中には運動会も行われるので地域の皆様方ともふれあいながら、「ふるさと白保」を感じる実習となることを願っています。将来は白保に学校の先生として帰って来てくれるでしょう。

世持 結生【よもちゆい】さん H28年度卒業生
常葉大学 教育学部 学校教育課程 3年生
「将来は、学習面はもちろん心情面でも児童から信頼される教師を目指したいです。」



学びは「いつもの暮らし」の中にある

令和の時代になり、日本の学校教育が大きく変わろうとしていることは、この「三本木」や機会ある度に何度もお伝えしてきました。予測不可能な未来を生きる子どもたちに身に付けていかなければならない資質・能力とは何か？ 現行の学習指導要領にはこう書かれています。1 知識・技能 2 思考力・判断力・表現力 3 学びに向かう力・人間性等 これらは3つの柱として示されていますが、私は3つめが最も大切だと考えます。自分の未来を自分で考える力（自分と向き合う力）そのために何を学ばなければならないかを考える力（自分を高める力）そして社会と関わる力（他者とつながる力）これらの力が一人一人の人生を豊かなものにするために必要だからです。これらは非認知能力と呼ばれています。（大人にも必要です）

現実問題として高校入試制度を例にとると、中学へ進学するとその先、なぜその高校へ行きたいのか、何を学びたいのか、そもそも何のために高校へいくのかなど、一人一人が否応なく考えさせられる時が来ます。しかし、15歳でその後の人生が決まってしまうのでしょうか。志望校合格のためにテストの点数を1点でも多く稼ぐ、そのために学校教育はあるのでしょうか。高校に進学することは人生の目的ではなく、その後の人生を選ぶ単なる一つのステップでしかないことは明らかです。

自分の人生を自分で切り拓く力を身に付け、経験したこと学習したことを今後の人生に役立てるため、そのための学校教育にならなくてははいけません。コロナショックがきっかけで、世界中がそのことを考えるようになった今がその転換期です。

親や教師の役割は、「いつもの暮らし」の中にある上述した非認知能力を伸ばすきっかけやチャンス子どもに与え続け、日常の暮らしを学びに変えていくことです。自分たちの将来の夢や希望を実現するための力を育てる…そのための教育こそが子どもにとっての「生きる力」となるのです。

10月の行事予定

- 1日(水)市教職員研修会(4校時授業)
- 2日(木)八重山教育事務所総合訪問(5校時授業)
- 5日(日)PTA 作業(9:00~11:00)
- 6日(月)教育実習スタート(~24日)
- 8日(水)お話朝会
- 13日(月)スポーツの日(公休日)
- 17日(金)運動会会場設営(5校時)
PTAによる会場設営(17:00~)
- 18日(土)運動会
- 20日(月)振替休日
- 25日(土)運動会予備日
- 11月3日(月)文化の日 5年宿泊学習(1日目)
- 4日(火) " (2日目)



ふくぎの会の皆さんによる読み聞かせ



18日朝、白保「ふくぎの会」の皆さんによる読み聞かせがありました。先日のPTA文化部の皆さんに引き続き行われ、翌週は教職員が読み聞かせを行いました。



白保消防団員との協力で行った火災避難訓練



18日、白保消防団員(遠山さん、安井さん、石塚さん)のご協力の下、避難訓練を行いました。子どもたちは誰一人あわてたりふざけたりすることなく、落ち着いて避難できていました。日頃からの備えや訓練の大切さについて学ぶことができました。

